

# 《机上判定演習課題》

判定活動に使う様式は3種類

- 様式1 擁壁被害状況調査・危険度判定表
- 様式2 宅地地盤/のり面・自然斜面  
被害状況調査・危険度判定表
- 様式3 擁壁・のり面の崩壊に伴う影響範囲図

※複数宅地に及ぶ被害を記録するもので演習を省略（記載例を紹介）

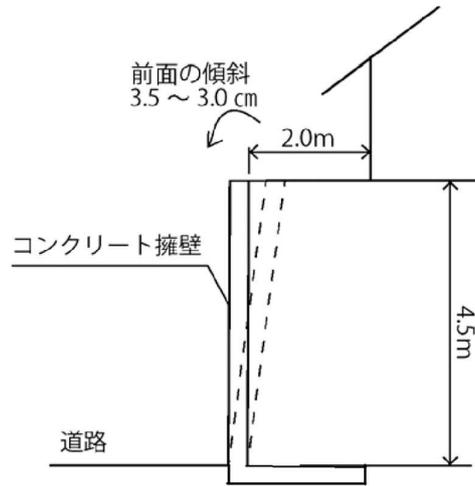
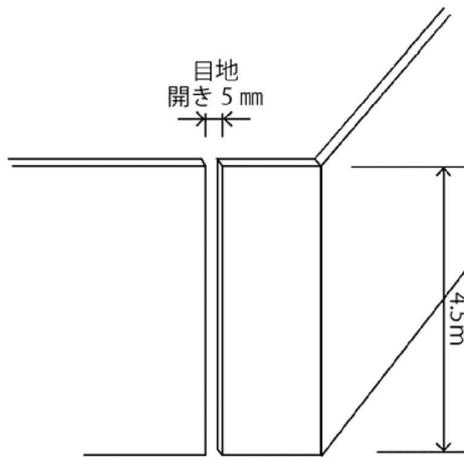
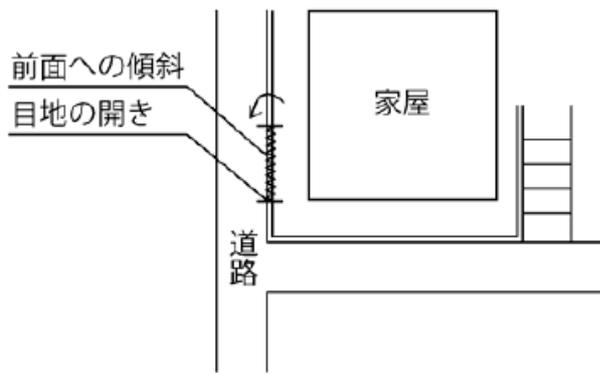
一つの宅地で擁壁・宅地地盤の両方に被害がある場合、どちらの様式も作成します。この際、被害程度の大きい方の判定表を採用し、結果を現地に掲示します。

それでは、演習課題にチャレンジ！

## 《演習1》擁壁被害（鳥取市A地区）



# 《演習 1》見取り図 (擁壁)



# 《演習 2》擁壁 + 宅地地盤被害 (倉吉市B地区)



②-2 赤帯貼付



赤帯貼付



# 《演習 2》擁壁 + 宅地地盤被害



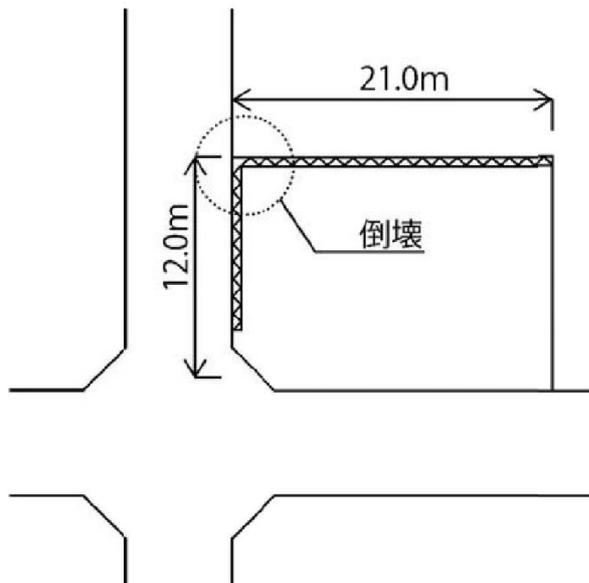
① - 1



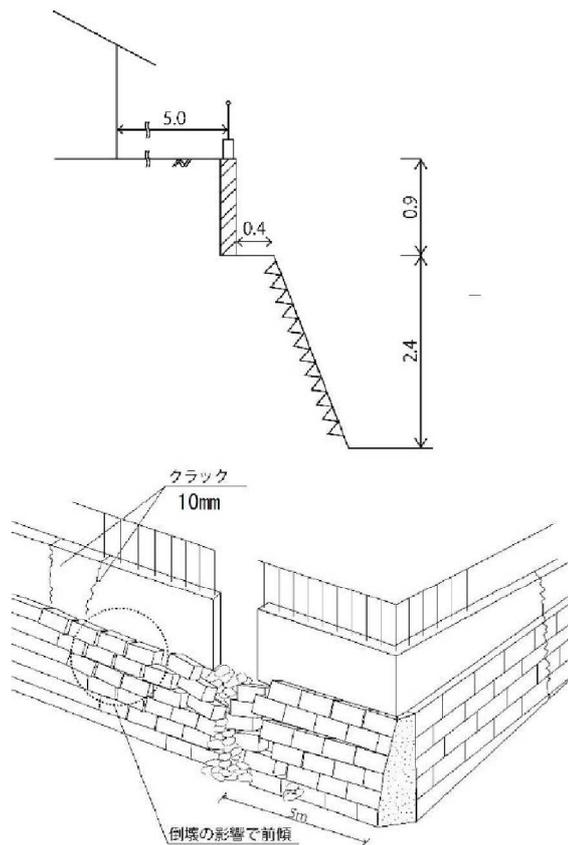
② - 1



# 《演習 2》見取り図 (擁壁)

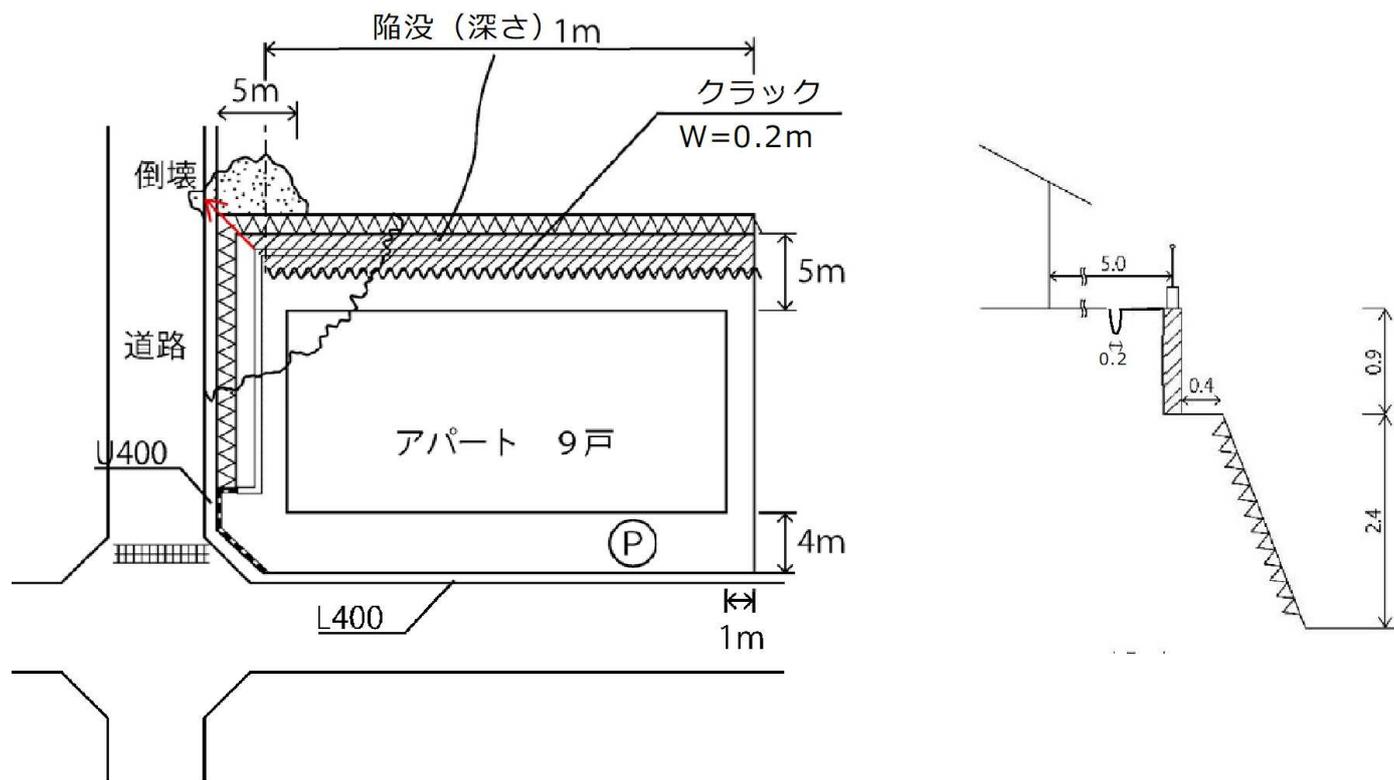


[平面図]



[断面図]

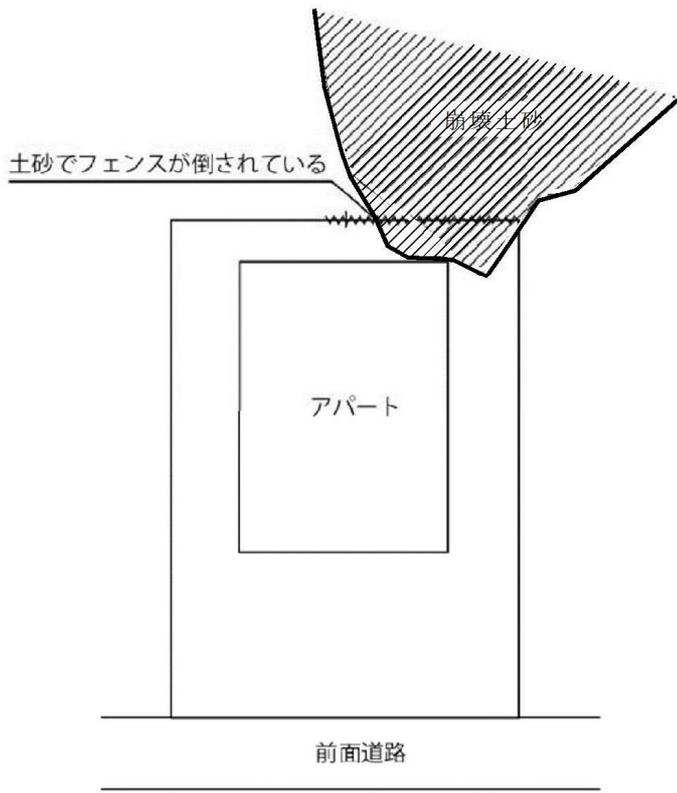
# 《演習 2》見取り図 (宅地地盤)



# 《演習 3》自然斜面被害 (米子市C地区)

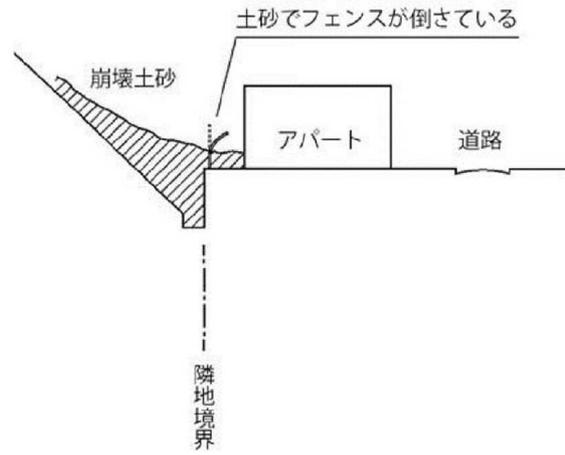


# 《演習 3》見取り図（自然斜面）



[平面図]

- 【補足】
- ・砂質土
  - ・自然斜面（オーバーハング無）
  - ・法高 20m、法勾配 1:0.8
  - ・排水施設（法尻部に有）
  - ・湧水無



[断面図]